

# News Letter

## Joining & Welding Research Institute

トピック 門井浩太准教授が IIW より  
Arthur Smith Award を受賞  
昇任准教授・新任准教授紹介  
行事報告

会議案内  
共同研究員募集  
受賞・人事  
編集後記

Contents

### 接合評価研究部門 信頼性評価・予測システム学分野 門井浩太准教授 IIW より Arthur Smith Award を受賞

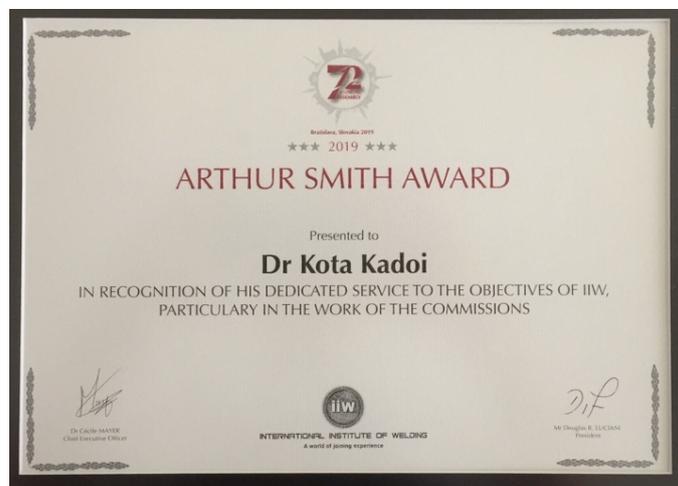
接合評価研究部門 信頼性評価・予測システム学分野 門井浩太准教授が、2019年 IIW（国際溶接学会、International Institute of Welding）Arthur Smith Award を受賞しました。本賞は、炭酸ガスアーク溶接研究の先駆者であり、IIW の委員会活動に多大なる貢献をした Arthur Smith 博士の遺徳を偲び、IIW での委員会活動において顕著な寄与、貢献をした個人に授与されます。個人に授与される溶接界では最も権威ある賞の一つとされています。

門井准教授は、これまで第 IX 委員会（溶接部の冶金現象を対象とした研究委員会）を中心として研究発表等の活動を行ってきており、この度、当該委員会におけるこれらの活動が高く評価され、受賞となりました。

2019年7月にスロバキア・ブラティスラヴァで開催された IIW 第 72 回年次大会において授賞式が執り行われ、本賞のスポンサーである TWI（英国溶接研究所）より賞状ならびに盾が授与されました。門井准教授は、溶接冶金等に関連した研究活動において、IIW をはじめとし、さらなる世界的な活躍が期待されます。



IIW 第 72 回年次大会での授賞式  
(2019年7月7日)



Arthur Smith Award 賞状

## 昇任准教授紹介

## エネルギー変換機構学分野

竹中 弘祐

接合プロセス研究部門 エネルギー変換機構学分野 准教授

2019年8月16日付でエネルギー変換機構学分野の准教授に昇任いたしました竹中弘祐と申します。私は、2005年4月から大阪大学接合科学研究所・特任研究員、2008年4月から接合科学研究所加工システム研究部門(現接合プロセス研究部門) エネルギー変換機構学分野・助教となり、これまでにプラズマや粒子ビームを用いた独自のプラズマ生成制御技術による低温かつ低ダメージでの高品位プロセスの実現に資する先進的な表界面制御プロセスの開発、ならびにそれらプラズマ生成制御技術を用いた機能性材料加工・形成プロセスの確立を目指した研究を行ってまいりました。さらに生体適合性に優れた革新的医療用プラズマ源の開拓に向けた、プラズマと生体分子との相互作用の解明に関する研究を推進して参りました。今後は、これまでの知見からさらに発展させて、先進

材料・未踏デバイス作製に向けた究極の加工技術の開発に向けて、プラズマと液相・固相のような多様な凝集相を含む多相プラズマプロセスを用いた表面・界面精密制御技術の開発、および革新的有機・無機ハイブリッド材料の創出のためのプラズマプロセス開発を目指して研究を推進いたします。また、本技術開発で得られたプラズマと有機材料表面における相互作用に関する知見をもとに、次世代先進材料創製に向けた異材接合プロセスの開発研究を推進する所存です。今後も接合科学研究所の一員として皆様のお役に立てるよう努力してまいります。今後とも、皆様方からのご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



## 新任准教授紹介

## レーザプロセス学分野

佐藤 雄二

接合プロセス研究部門 レーザプロセス学分野 准教授

2019年9月1日付で接合プロセス研究部門レーザプロセス学分野 准教授に着任致しました佐藤雄二と申します。この紙面を借りて、着任のご挨拶を申し上げます。私は、東海大学大学院工学研究科にて博士(工学)を取得しました。その後、2013年4月より大阪大学接合科学研究所に特任研究員、特任講師として教育・研究に従事して参りました。これまで私は、光化学、レーザ工学を学術的ベースにCWレーザによる熱加工プロセスを通じた付加製造技術の研究、パルスレーザによる微細加工プロセスの研究を行って参りました。近年は、金属3Dプリンタ技術の一つであるレーザ金属積層造形法(SLM法)の研究開発に取り組み、レーザ照射時の粉末挙動評価やスパッタ発生メカニズムの解明などの巨視的な現象解明を行ってまいりました。加えて、大型放射光施設(SPring-8)の高輝度X線を利用して、レーザ照射時の金属粒子の

溶融・凝固過程を実時間観察して、マイクロスケールの微視的な現象解明にも取り組み、世界に先駆けてスパッタを抑制したスパッタレス SLM 法を開発しました。今後はこれまで培ってきた経験・知見を活かし溶接・接合メカニズムの解明を通じた基礎学理を探究し、レーザ溶接や SLM 法などのレーザ加工の高度化に資するレーザプロセス学の構築と実用化研究を推し進めていきたいと考えております。さらに本研究室で推進している高輝度青色半導体レーザの研究開発にも取り組み、新たな溶接・接合技術の創出、並びに学理の発展を目指して行く所存です。今後とも皆様方からのご指導ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



## 行事報告

## 大阪大学国際共同研究促進プログラム－上海交通大学訪問報告

麻 寧緒

接合評価研究部門 接合構造化解析学分野 教授

大阪大学国際共同研究促進プログラムにおける活動の一環として2019年5月18日～21日に上海交通大学を訪問しました。まず、5月19日に同大学材料レーザ加工研究所(MLPM)のFenggui LU 教授と共同研究の進め方について協議しました。5月20日は、国際共同促進プログラムのリーダー南二三吉教授と幹事役の麻寧緒教授は、MLPM主催・JWRI共催の特別講義「Special Lecture on assessment of welded joints and computational welding mechanics」を行いました。本特別講義には上海交通大学から47名(教員:12名、大学院生:35名)が出席しました。特別講義が始まる前に、南教授に上海交通大学招へい教授の称

号を授与する記念式が開かれました。特別講義の後、船舶海洋工学学院の万徳成院長、羅宇教授と国際共同研究に関する意見交換を行いました。5月21日は、同大学・汽車工程研究院デジタル製造研究所を見学し、林学長グループの李永兵教授と趙亦希教授らと国際共同研究及び学生訪問交流について打合せを行いました。



## ベトナム・ハノイ工科大学副学長等が接合科学研究所訪問

勝又 美穂子

広域アジアものづくり技術・人材高度化研究センター 国際人材育成部門 特任准教授(常勤)

2019年5月21日(火)に、ハノイ工科大学(ベトナム) Phong 副学長、Hai 機械工学部副学部長、及び Hanh 同溶接学科長が当研究所を訪問されました。来訪時には本学の河原グローバル連携担当理事・副学長を表敬訪問し、当研究所が進める「ベトナム溶接技術研究所」(仮称)の設立に向けた連携合意について双方の意思を確認しました。また、当研究所の設備見学なども実施しました。

今回の来訪により「研究所」の設立に向けたイメージが一層具体化されたことから、今後ベトナム側での動きの加速が期待されます。



## 韓国 KIMM の釜山機械研究センター長らが当研究所を来訪

田中 学

接合科学研究所長

2019年5月20日に、韓国 KIMM(Korea Institute of Machinery & Materials) の Shin Dongsig 釜山機械研究センター長らが韓国海洋大学校の Kim Jong-Do 教授と共に接合科学研究所を来訪されました。双方の学術研究活動の紹介を通じて、レーザ加工を中心にした将来の学術交流・共同研究の可能性について活発な意見交換が行われました。上述の Kim Jong-Do 教授は松縄研究室の卒業生、KIMM の Lee Su-Jin 主任研究員は片山研究室の卒業生であり、当研究所卒業生の母国での活躍と、卒業生を通じた国際連携の発展は、大学附置研究所として大変有り難いものとなりました。



## 行事報告

## 接合科学研究所 女性の会 (JWRI 女会)

梅田 純子

接合機構研究部門 複合化機構学分野 准教授

2019年7月12日第8回 JWRI 女会は、メンバー38名と男女協働推進センター職員が参加して開催されました。学生の「生涯を通じたキャリア形成のイメージがわからない」という将来への不安から、JWRI 女会メンバーが初講師役となったプチセミナー「女性と仕事」が行われました。今井事務長「そして接合研へ-私のキャリアパス-」、榊原庶務係主任「ワーク・ライフ・バランス～仕事と生活の調和～について」と題し、生活を充実させることで仕事に邁進できる・周囲のサポートに常に感謝する・自己意識を変える、などが重要であると学びました。



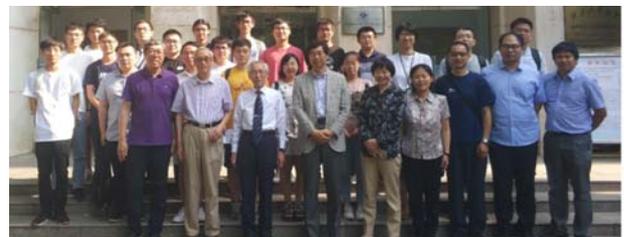
## 北京工業大学、清華大学と天津大学への訪問

麻 寧緒

国際連携溶接計算科学研究拠点リーダー

2019年6月16日～20日、広域アジア事業における国際共同研究や国際連携溶接計算科学研究拠点の国際連携および学生の国際交流を推進するため、北京工業大学、清華大学と天津大学を訪問しました。まず、6月17日に北京工業大学・材料科学大学院生に「数値溶接力学の基礎」と「数値溶接力学の実用化手法」を講義し、Lu 副学長、Shi 教授、Lei 教授、Lin 准教授らと学術交流協定の延長と共同研究の進め方について協議しました。翌日、清華大学・機械工学院院长 Shan 教授、溶接研究センターの Wu 教授、Du 教授、Cai 教授、Chang 准教授らと国際共同研究の内容を調整しました。6月19日、天津大学・材料科学工学院の大学院生に「数値

溶接力学の最近進展」と「数値溶接力学のエンジニアリングツール」について講演しました。さらに、国際会議 WSE2019 の共催者となる中国溶接学会の Xu 教授、Ye 教授、Di 教授らと協力関係について協議しました。



## ベトナム溶接研究会第二回研究会

勝又 美穂子

広域アジアものづくり技術・人材高度化研究センター 国際人材育成部門 特任准教授 (常勤)

2019年6月25日(火)、本年3月のベトナム溶接研究会発足記念セミナーに続いて、第二回目の研究会を JETRO ハノイ事務所にて開催しました。今回はベトナム溶接研究会の会員企業のみを参加対象とした研究会であり、30名程度のご参加がありました。

株式会社神戸製鋼所からの製品・技術開発に関する紹介、及び本学工学研究科教授による高度な溶接プロセスに関する産学連携研究の紹介に係る2件の講演がありました。企業での実践的な技術紹介と、アカデミックな視点からの研究紹介が行われ、研究会として有意義な学びの場となりました。



## 行事報告

## 北京大学学生訪日団の来訪

山咲 和久  
 事務部 庶務係 係長

2019年7月24日(水)に北京大学学生訪日団95名(団長、引率含む)が、当研究所を訪問しました。本訪日団は、外務省の推進する「日中植林・植樹国際連帯事業」の一環として、(公財)日中友好会館が招聘したものです。

小溝裕一東アジア拠点長及び訪日団団長のご挨拶の後、本学の紹介や当研究所PR動画の上映があり、引き続き、藤井英俊教授が「鋼を溶かさず溶接する」と題して特別講演を行いました。本学学生が加わり、北京大学学生とともに行われたグループワークでは、活発で真摯なディスカッションが進み、本事業の目的である、日本の最先端の研究の理解と日中両国の青少年の友好、親睦を図ることができました。



## 親子で学ぼう！リビング子ども大学 2019 「作ろう！観よう！顕微鏡ワールド」

植原 邦佳  
 技術部 技術職員

2019年7月31日(水)にサンケイリビング新聞社主催の小学生向け実験イベント、「親子で学ぼう！リビング子ども大学 2019『作ろう！観よう！顕微鏡ワールド』」に大阪大学 部局横断型女性技術職員ネットワークの一員として植原技術職員が参加しました。

当日は、小学生(4~6年生)と保護者の25組50名が参加し、ペットボトル顕微鏡とLEDランプの製作、デジタル光学顕微鏡観察、そして実際に研究で使用している走査電子顕微鏡(SEM)の見学と操作体験を行いました。



LEDランプの回路設計(左)とSEMの操作体験(右)の様子

## Smart MADE 2019: 1st Global Forum on Smart Additive Manufacturing, Design &amp; Evaluation

桐原 聡秀

スマートプロセス研究センター ナノ・マイクロ構造制御プロセス学分野 教授

2019年9月1日~3日に、大阪大学中之島センターを会場として、国際会議 Smart MADEを開催しました。高い関心を集めるアディティブ・マニファクチャリング技術は、製造装置としての体系化も落ち着く兆しが見られ、次なるフェーズとして、造形製品の積極的な応用へ興味関心が移りつつあります。この国際会議では、アディティブ・マニファクチャリングの基盤となる、コンピュータ支援の設計・製造・評価をスマートプロセスと定義し、3次元造形工学が切り開く未来像をともに考えました。基調講演ならびに招待講演として、米国ならびにヨーロッパから、著名な講師を多数招聘すると

ともに、国内ならびにアジア地域からも、気鋭の研究者や技術者を招集しました。日本を含めた5か国から、総勢60名の参加があり、その中で、国内企業から35名の方々が、熱心に聴講されました。当該分野に関する、産業界からの高い興味関心が伺えます。現在、次回の開催に向けて、企画を進めております。



行事報告

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業—CIS 活動報告

菅 哲男・勝又 美穂子・橋本 智恵

広域アジアものづくり技術・人材高度化研究センター 運営委員会 委員

2019年度のCIS(カップリングインターンシップ)が、8月～9月に4ヶ所で実施されました(表)。アウトバウンドがタイとベトナムの2ヶ国で、インバウンド(日本)がIHI 相生とダイヘン六甲の2ヶ所でした。阪大生の理系・文系4名と海外大学の理系・文系4名が参加しました。阪大生は、工学研究科、基礎工学研究科、外国語学部、経済学研究科などの多部署からの学生でした。

現地では、2日間の事前研修を海外大学で行い、日本企業の理念やコミュニケーションの研修、実習企業の紹介、溶接知識の教育、実習テーマの検討などを実施しました。

その後、受入企業で5日間の企業実習を行いました。実習としては、会社説明(方針、組織、業務内容)、安全と品質管理の説明などを受けると共に、工場実習・溶接実習や工場見学を行い、幅広い視野からの企業活動の全体を学びました。また、訪問企業の客先の見学も行い、企業活動への理解を深めました。

実習テーマ(コミュニケーションの課題と対策、グローバル人材育成の課題と対策など)に関して、企業の幹部・スタッフとのインタビューも踏まえて、学生は2チームに分かれて連日協議を重ね、一生懸命に取り組みました。

実施国	期間	相手大学	受入企業
タイ	8/11-24	カセサート大	OTC Daihen Asia
ベトナム	9/8-21	ハノイ工科大	IHI Infrastructure Asia
日本	8/18-31	インドネシア大	IHI 相生工場
日本	9/15-28	モンクット王トリブリエ科大	ダイヘン六甲事業所

最終日には、海外大学で学生は実習テーマの検討結果について発表しました。企業と大学の関係者の多数の参加がありました。学生の報告に関して活発な質疑応答が行われましたが、各国企業からは「提案は社内の活動に取り入れたい」、「企業としても刺激を受け、考察の良い機会となった」などのコメントをいただきました。

学生は、「ものづくり現場」を体験すると共に、実習テーマを通して「異文化コミュニケーション」の理解が出来ており、各国とも大変有意義な活動でした。また、インバウンドCISは、日本人学生が自身のアイデンティティを考える良い機会ともなっているようでした。



(タイ CIS)



(ベトナム CIS)



(IHI 相生 CIS)



(ダイヘン六甲 CIS)

## 行事報告

(株)ダイヘン、OTC DAIHEN ASIA、ハノイ工科大学機械工学部、  
大阪大学接合科学研究所 国際産学連携共同研究調印式典開催

勝又 美穂子

広域アジアものづくり技術・人材高度化研究センター 国際人材育成部門 特任准教授（常勤）

2019年10月7日（月）に、(株)ダイヘン、OTC DAIHEN ASIA、ハノイ工科大学機械工学部、大阪大学接合科学研究所の4者による国際産学連携共同研究の調印式典がハノイ工科大学にて開催されました。出席頂いた在ベトナム日本大使館中馬二等書記官からは、「同連携によるベトナムにおける大学の研究力・技術力向上に強く期待する」とのお言葉を頂戴しました。本活動を通し、ベトナムの溶接・接合に係る高度技術の醸成は勿論、技術・品質の向上に邁進する在外日系企業への貢献も期待されます。



## ベトナム溶接研究会ホーチミンセミナー

勝又 美穂子

広域アジアものづくり技術・人材高度化研究センター 国際人材育成部門 特任准教授（常勤）

2019年10月8日（火）、ベトナム溶接研究会ホーチミンセミナーをホーチミン市、サイゴンホテルにて開催しました。同セミナーは主催・当研究所ベトナム溶接研究会、共催・ジェトロホーチミン事務所、後援・在ホーチミン日本国総領事館及びホーチミン日本商工会議所で開催しました。ベトナム全土より同分野に関係する企業から約60名がご参加されました。(株)ダイヘン、当研究所、ホーチミン工科大学からの記念講演があり、3時間に及ぶ長時間のセミナーでしたが、活発な質疑応答もあり、研究会にふさわしい協議・交流が行われました。



## 行事案内

## Visual-JW2019 &amp; WSE2019

日時：2019年11月21日（木）～22日（金）  
場所：ホテル阪急エキスポパーク  
詳細：シンポジウムのサイトをご参照下さい。

第5回接合溶接可視化国際会議「The 5th International Symposium on Visualization in Joining & Welding Science through Advanced Measurements and Simulation」と第8回溶接科学エンジニアリング「The 8th International Conference of Welding Science and Engineering」並びに「共同研究/共同利用シンポジウム」が同時に開催されます。講演予定数は200件以上で、参加予定者は300名以上です。

## 東京セミナー

日時：2019年11月25日（月）  
13:00～16:40

場所：大阪大学医学・工学研究科東京ランチ  
詳細：当研究所 WEB サイトをご参照下さい。

今年も「東京セミナー」を開催します。今回は、特に日々進化するシミュレーション技術を活用した計算科学が拓く溶接研究の新展開を目指した挑戦的な取り組みを最新の研究成果とともに紹介し、今後の展望について議論したいと考えております。多数の方々にご参加頂きますよう、ご案内申し上げます。

行事案内

第7回接合科学カフェ

題目：「60分のミステリーツアー - 割れ -」  
 ゲスト：門井 浩太（接合研 准教授）  
 カフェマスター：鶴田 駿（接合研 助教）  
 日時：2019年11月28日（木）  
 19:00～20:00  
 場所：アートエリア B1  
 （京阪電車なにわ橋駅地下1階コンコース）  
 詳細：当研究所 [WEB サイト](#) をご参照下さい。  
 定員 30 名程度（入退場自由・当日先着順・参加無料）

本カフェでは溶接過程で生じる「割れ」研究の最前線を紹介します。

第8回接合科学カフェ

題目：「60分のミステリーツアー - すき間 -」  
 ゲスト：伊藤 和博（接合研 教授）  
 カフェマスター：梅田 純子（接合研 准教授）  
 日時：2020年1月16日（木）  
 19:00～20:00  
 場所：アートエリア B1  
 （京阪電車なにわ橋駅地下1階コンコース）  
 定員 30 名程度（入退場自由・当日先着順・参加無料）

第9回接合科学カフェ

題目：「60分のミステリーツアー - 粒(つぶ) -」  
 ゲスト：阿部 浩也（接合研 准教授）  
 カフェマスター：伊藤 和博（接合研 教授）  
 日時：2020年3月（詳細未定）  
 19:00～20:00  
 場所：アートエリア B1  
 （京阪電車なにわ橋駅地下1階コンコース）  
 定員 30 名程度（入退場自由・当日先着順・参加無料）

第1回喫茶 接合ロマン

題目：「日本の鋼構造物の歴史から紐解く  
 溶接技術開発」  
 講師：中西 保正（接合研 招へい教授）  
 日時：2019年12月3日（火）  
 19:00～20:30（定員 70 名、先着順）  
 場所：大阪大学中之島センター  
 参加費：無料  
 詳細：当研究所 [WEB サイト](#) をご参照下さい。

本講演会では大型溶接構造物の歴史とその背景である溶接技術開発のポイントを紹介いたします。

第2回喫茶 接合ロマン

題目：「アーク溶接の発展経過」  
 講師：三田 常夫（接合研 招へい教授）  
 日時：2020年1月21日（火）  
 19:00～20:30（定員 70 名、先着順）  
 場所：大阪大学中之島センター  
 参加費：無料  
 詳細：当研究所 [WEB サイト](#) をご参照下さい。

本講演会ではアーク溶接プロセス、それらに用いられるアーク溶接電源の発展経過を紹介いたします。

13<sup>th</sup> International Symposium on Friction Stir Welding & 3<sup>rd</sup> International Joint Symposium on Joining and Welding

日時：2020年5月26日（火）～28日（木）  
 場所：国立京都国際会館  
 詳細：[シンポジウムのサイト](#) をご参照下さい。

当研究所と英国の TWI との主催で FSW(摩擦攪拌接合)および溶接・接合に関する国際シンポジウムを国立京都国際会館にて開催いたします。世界中の溶接・接合分野に関わる研究者・技術者との学術交流を深めるために多数の皆様のご参加をお待ちしております。

お知らせ

2020 年度共同研究員募集要項について

毎年、多くの方に共同研究員に応募して頂きありがとうございます。さて、2020年度につきましても共同研究員の募集を行います。募集要項につきましては、2019年12月中旬頃、当研究所 [WEB サイト](#) に掲載予定です。

申込期限：2020年2月28日（金）  
 申請資格：大学又はその他の研究機関の研究者で、接合科学に関係する研究に従事されている方

接合科学共同利用・共同研究賞の募集

2020年度「接合科学共同利用・共同研究賞」の募集を行います。詳細につきましては、当研究所 [WEB サイト](#) をご参照ください。

申込期限：2020年6月12日（金）

各種賞受賞者等

受賞

2019年 4月 17日	釜井 正善	溶接技術普及賞	(一社) 溶接学会 関西支部
2019年 5月 2日	藤井 英俊, 柳楽 知也	ITEX2019 Gold medal	30th International invention, innovation & Technology exhibition 2019
2019年 5月 11日	崔 正原(院生)	第136回春期大会ポスターセッション軽金属溶接協会賞	(一社) 軽金属溶接協会
2019年 5月 13日	山本 啓, 今川 雄大(院生), 伊藤 和博	平成30年度 界面接合研究賞	(社) 溶接学会 界面接合研究委員会
2019年 5月 31日	塚本 雅裕, 森本 健斗(院生), 佐藤 雄二, 升野 振一郎, 原 隆裕(院生), 西川 宏	業績賞 (論文賞)	(一社) レーザー学会
2019年 6月 4日	梅田 純子, 近藤 勝義	平成30年度論文賞	(一社) 粉体粉末冶金協会
2019年 6月 6日	藤井 英俊	Arconic Russia Special Award	4th International Conference & Exhibition Aluminium-21/Joining
2019年 6月 12日	稲垣 拓也(院生)	2019年度年次講演大会優秀ポスター賞	(一社) 軽金属溶接協会
2019年 6月 12日	前田 新太郎(院生)	2019年度年次講演大会優秀ポスター賞	(一社) 軽金属溶接協会
2019年 6月 28日	堤 成一郎, 清川 裕樹(院生), Fincato Riccardo	応用力学論文賞	(公社) 土木学会応用力学委員会
2019年 7月 7日	門井 浩太	Arthur Smith Award	IIW(International Institute of Welding)
2019年 7月 22日	麻 寧緒	Lecture Award	西安交通大学
2019年 8月 6日	茂田 正哉, 田中 学, 阿部 洋平, 中谷 光良	溶接物理・技術奨励賞	(一社) 溶接学会 溶接法研究委員会
2019年 8月 6日	茂田 正哉, 田中 学	溶接物理・技術奨励賞	(一社) 溶接学会 溶接法研究委員会
2019年 9月 12日	稲垣 拓也(院生)	第178回秋季講演大会学生ポスターセッション努力賞	(一社) 日本鉄鋼協会
2019年10月 8日	田中 慶吾(院生)	海外論文発表奨励賞	(一社) 生産技術振興協会

人事異動

人事異動 (2019年5月~2019年10月)

【着任】				【離任】			
2019年 5月 1日	招へい研究員	VICHARAPU BUCHIBABU	受入れ	2019年 5月 31日	事務補佐員	下小牧 智子	退職
2019年 5月 1日	招へい研究員	CHENG CHUN	受入れ	2019年 5月 31日	招へい研究員	HOU JUNCAI	終了
2019年 5月 1日	招へい研究員	KAR AMLAN	受入れ	2019年 6月 30日	技術補佐員	城野 隆子	退職
2019年 6月 1日	技術補佐員	井藤 里香	採用	2019年 6月 30日	事務補佐員	喜多 由紀子	退職
2019年 6月 1日	事務補佐員	坂田 祐子	採用	2019年 7月 31日	招へい研究員	HOU JUNCAI	終了
2019年 7月 1日	技術補佐員	田中 喜隆	採用	2019年 7月 31日	招へい研究員	AYMAN HAMADA ABDELHADY	終了
2019年 7月 1日	事務補佐員	泉 純子	採用	2019年 8月 15日	特任助教	LEE SEUNGJOON	退職
2019年 7月 1日	招へい研究員	HOU JUNCAI	受入れ	2019年 8月 15日	事務補佐員	藤井 匡江	退職
2019年 8月 16日	准教授	竹中 弘祐	昇任	2019年 8月 31日	事務補佐員	山本 真理子	退職
2019年 8月 16日	事務補佐員	伊藤 夕佳	採用	2019年 9月 30日	庶務係長	山咲 和久	異動
2019年 9月 1日	准教授	佐藤 雄二	採用	2019年 9月 30日	事務補佐員	松本 守美恵	退職
2019年 9月 1日	特任研究員	高松 伸行	採用	2019年 10月 31日	事務補佐員	進 知恵子	退職
2019年 9月 17日	派遣職員	森川 直哉	採用	2019年 10月 31日	事務補佐員	古本 麻実子	退職
2019年 10月 1日	庶務係長	高木 謙司	異動	2019年 10月 31日	事務補佐員	島林 有紀子	退職
2019年 10月 1日	技術補佐員	篠原 睦夫	採用				
2019年 10月 16日	事務補佐員	宮崎 怜奈	採用				

編集後記

ラグビーW杯では日本中が沸きましたが、世界中からも日本のおもてなし精神が賞賛されました。このような国際化の流れの中で、本号でも国際共同研究促進プログラムによる上海交通大学訪問や海外大学幹部の来訪、ベトナムでの国際産学連携共同研究調印式など当研究所のグローバル化に関する記事を多数取り上げました。接合研では、強みである国際的な取り組みを継続するとともに、多方面で新たな活動を展開しています。今後とも、皆様のより一層のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。(井上 裕滋)

阪大接合研ニュースレター No.45

2019年11月 発行

発行：大阪大学 接合科学研究所

編集：接合科学研究所 広報企画委員会

〒567-0047 茨木市美穂ヶ丘 11-1

TEL: 06-6879-8677 FAX: 06-6879-8689

URL: <http://www.jwri.osaka-u.ac.jp/>